

はじまりは大阪にあり！

井上 理津子

第11回 食道園

食道園では、平壤冷麺のサイドメニューとして焼肉を出した。そのため、「千日前に旨い冷麺と焼肉の店あるぞ」と口コミが瞬く間に広がり、

焼肉店は全国に1万5023店ある（平成28年総務省統計局・経済センサス調査）。肉を焼きながらタレをつけて食べるのは日本中ほぼ同じ。この焼肉スタイルは、1946年（昭和21）、千日

前にあった「食道園」（現本店は宗右衛門町）が発祥だ。それ以前から露店でホルモンを食べさせていたのは、新宿や鶴橋のガード下などにもあったが、扉も壁もテーブルも整った中で提供したのはここが初。韓国でこの形式の焼肉店が広がったのも朝鮮戦争（1950～53年）以降なので、日本発のみならず世界初だった可能性が大きい。

食道園では、平壤冷麺のサイドメニューとして焼肉を出した。そのため、「千日前に旨い冷麺と焼肉の店あるぞ」と口コミが瞬く間に広がり、

戦禍からの起死回生 焼肉文化つくる名店

大盛況に。そして、追隨する店が続出。創業者は、平壤出身の江崎光雄さん（1911～82年）。昭和初期に来日し、東京でタクシー運転手をしたが、病気で帰郷。日本人に侵略された街で辛苦を舐めた後、軍属となって中国へ。除隊した38年（昭和13）、山西省太原（タイゲン）で



終戦後まもない大阪
千日前で創業

「6人の子を育てていくため、手当たり次第だったからだと思う。最初のうち牛肉は統制品だったので、鶏肉とホルモンが主だった。それまでホルモンは煮込むものだった。が、えらい、焼いてしまえ、と」（2代目で現会長の江崎政雄さん）やがて、牛肉を部位ごとに枝肉で仕入れ、店で切って、木炭を燃料に七輪で焼く。部位ごとに味つけを変え、焼いた肉を冷ますのが目的だったタレに焼肉の味を調える効果を見いだし「つけダレ」に仕上げた。力道山、大内山、美空ひばり、江利チエミらも

足繁く訪れた。大阪万博に出店した「焼肉弁当」も大当たりし、全国の喫茶店ランチメニューに普及。焼肉店のスタンダードとなった無煙コースターも食道園から始まった。食道園の歴史は「焼肉文化」の歴史そのものだ。

井上理津子（いのうえりつこ）ノンフィクションライター。著書に、この連載の元である『新版はじまりは大阪にある！』のほか、『大阪下町酒場列伝』『さいごの色街 飛田』『葬送の仕事師たち』『いまどきの納骨堂』などがある。故・大内弘（淀川区開業）の長女。

ストップ 大 阪 都 構 想

立命館大学教授
森 裕之



阪はその被害が全国でも最悪であり、震源地である大阪市や大阪府が今後何に全精力を注がなければならぬかは明らかである。その中で、不要不急・マイナスの筆頭である「大阪都構想」に

ミレニウムのやり直しを求める声が大きくなる。「大阪都構想」は2016年度の決算額に基づいて財政の制度設計が行われており、この前提がコロナ禍で大きく狂うのは明らかだ。そのため、大阪府・市は8月11日に「見直し」を発表す

は、コロナ禍によって大阪市の税収がどれだけ下がり、また必要な支出がどれだけ増えても、国が財政措置してくれるから大丈夫だ、といった大丈夫な発言。こんな能天気な財政見通しを平然と公言する自治体は大阪府・市を除くと存在しない。

年度に大阪府は637億円の赤字になるというのである。これを大阪市の「貯金」（財政調整基金）で埋めれば、その残高は半減する。リーマンショックのときに大阪市の税収は回復までに10年を要した。コロナ禍ではそれよりも長期化するの

戦いは幻想vs.現実5年前に比べ、賛成派の勢力が小さくなる一方で、反対派の知識と能力は格段に上がっている。世論調査でも、9月初め時点で賛成派が反対派を10%上回っていたのが、10月12日には3%にまで縮まってきた。

大阪経済の「質」を悪化させるもので、成長以前の問題だ（人間に例えれば、体格は大きくなっても、人格・健康・知性などもっと重要な点が劣っていることと同じ）。一方で、本連載でも繰り返しみてきたように、「住民サービスの低下」は間違いなく起る。つまり、賛成派と反対派の戦いは、幻想vs.現実だ。そして社会は現実でしか対応できないのである。

コロナ禍にみる醜態と

「裸の王様」と化す

は必至である。

「今後の財政的な影響について」として「合理的な根拠に基づいた適切な試算は現時点で困難だが、地方交付税や臨時の交付金等による相応の財源措置が想定される」（太字および傍線は原文のまま）とした。これ

「裸の王様」と化す。こうした中で、大阪府は9月9日に翌年度の財政見通しの試算を発表する。そこでは、大阪市の市税収入が約500億円も減少することが示された。これに生活保護費の増加等を加味すれば、21

は必至である。財政見通しがこのタイミングで発表された背景には、大阪市の内部で「大阪都構想」への強い批判があるのは間違いない。特に財政担当者は強い危機感を抱いている。「大阪都構想」は「裸の王様」と化している。

賛成派は「二重行政の解消」と「大阪経済の成長」、反対派は「住民サービスの低下」を主な理由としている。ところが、無駄な「二重行政」はもはや存在しない（その証拠に、賛成派は具体的対象と削減効果額を全く示すことができない）。大阪経済はこの間全国や周辺に比べて成長率が低かった。カジノは

「住民サービスの低下」は間違いなく起る。つまり、賛成派と反対派の戦いは、幻想vs.現実だ。そして社会は現実でしか対応できないのである。コロナ禍で多くの住民が苦しんでいる。それを無視し、己の権力拡大のためだけに手段を選ばない政治を許してはならない。先生方一人ひとりの力が大阪の明るい未来を切り拓くことを願ってやまない。（おわり）

協会行事案内

お申し込みは HP ask-net.org 電話 06-6568-7731 ファクス 06-6568-0564

医科・歯科共催 雇用セミナー
雇用管理の基礎知識と募集・採用のポイント
をグループワークで事例検討
日時 11月7日（土）午後2時30分～5時
会場 保険医会館5階
講師 堀口正二氏（社会保険労務士）
会費 一人につき5千円（2日分） 定員 20人
三島地区講習会
口腔機能低下症への対応／保険診療での実践
に向けて
日時 11月7日（土）午後7時～8時30分
会場 高槻市生涯学習センター研修室 会費 無料
講師 貴島真佐子氏（わかさ童間リハビリテーション病院診療部歯科科長） 定員 20人

新規指導対策講習会／「歯初診」に係る施設基準研修会
新規開業医・開業準備のための新規個別指導
対策（院内感染防止対策に係る研修含む）
日時 11月14日（土）午後6時30分～9時
会場 保険医会館5階 講師 社保研究部会講師団
会費 無料、施設基準研修会修了証発行希望者は千円 定員 50人
持参物 第一部「カルテ記載を中心とした指導対策テキスト（2017年8月版）」、第二部「絵で見る色でわかる歯科の院内感染防止対策」
※第一部で新規指導対策講習会、第二部で院内感染防止対策に係る施設基準研修会

北河内地区講習会
コロナ禍での雇用管理——トラブル回避のために
日時 11月21日（土）午後6時30分～8時
会場 ドーンセンター大会議室1（天満橋）
講師 桂好志郎氏（社会保険労務士）
会費 無料 定員 30人

11月度生涯研修
歯科診療所が関わる摂食嚥下障害へのアプローチ
日時 11月22日（日）午前10時～午後1時
会場 M&Dホール（保険医会館東隣り）
講師 林宏和氏（林歯科医院副院長）
会費 会員3千円、未入会者1万円 定員 80人

無料相談
雇用 11月18日（水）午後2時～5時
法律 11月19日（木）午後2時～4時
12月7日（月）午後2時～4時
※会場は保険医会館。1週間前までに要申し込み

参加ご希望の方は、必ず事前にお申し込み下さい。M&Dホールは保険医会館東隣りです。

未入会者とは、会員院所に勤める未入会勤務医です
※協会行事などを本紙等で報道・紹介するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。